



明けましておめでとうございます。

2025年がスタートしました。今年は巳年です。蛇は脱皮することから、復活と再生の意義があり、新しい自分をつくる意味でも子どもたちにはいろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。今日の始園式では次のようなお話をしました。年長さんには、「卒園に向けて、こんなことに頑張ったと自信を持って言えるようにしましょう。」年中さんには、「年長さんに向けて、みんなで協力し合い、自分から進んでいろいろなことを取り組みましょう。」年少さんには、「年中さんに向けて、自分でできることは自分でしていきましょう。」

新しい年は、新しい目標を立てる機会でもあります。ご家庭でも、お子様とこの1年の抱負を語っていただき、有意義な1年になりますよう励ましていただければと思います。



年長さんが竹馬乗りの練習

昨年の11月から年長さんが竹馬乗りの練習を始めています。今月の20日から各クラスで竹馬づくりをして、来月末に竹馬披露週間を予定しています。竹馬はバランスを取るのが難しく、なかなかすぐには乗りこなすことはできません。上手に乗っているお友だちの様子を見てみると、「竹馬を前方に傾け、重心がつま先に移動している。」「手と足を同時に動かしている。」「竹を持つ手の位置は胸のあたりにしている。」など乗り方のコツをつかんでいます。粘り強く練習を重ねることで、全員のお友だちが竹馬に乗れるようになるといいなと思っています。



「お片付け」の習慣

子どもたちの園生活を見ていて一番に驚いているのが片付けの習慣です。どんなに遊びに夢中になっていても先生から「片付けだよ」の言葉が発せられると子どもたちが一斉に遊びを止めて、自分が遊んでいた遊具を片付け始めるのです。その際、子どもたち自身も「お片付け」の言葉をリズムよく口ずさみながら、片付けていく様子には感心します。園庭や砂場に散らばった遊具はたちまち元の場所に戻されます。教室でも同様な姿が見られます。「片付けだよ」の言葉とともにレゴや絵本、キッチン道具などが次々と片付けられます。自分が遊んだ物は自分で後始末ができることは大切な生活習慣です。そこには自由と責任の表裏一体の姿が見られます。



タブレットを活用した研修

1月7日、教員向けにタブレットを活用した研修会を行いました。ICT教育の急激な発展で、現在では小学生が一人一台タブレットを持つ時代になりました。幼稚園においてもICT教育導入の動きが広がってきています。本園でも昨年度から試験的に年長さんがタブレット活用した活動体験を行っています。活用例として「子どもが見つけた虫をカメラで撮り拡大する」「自分が描いた絵を動かして創作意欲を高める」など、今の園生活がより楽しめたり、深められたりするような形のものです。ICT教育を導入しても、子どもたちの学習活動の中心は直接体験であることは変わりません。今後も教員のスキル向上に努めます。

